

全数把握対象疾患 類型別一覧表

類型	疾患名	届出対象者			届出方法	届出期日	備考欄等入力方法
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者			
一類	エボラ出血熱	○	○	○	感染症 サーベイラ ンスシステム (※以下、 システム)	直ちに	【海外渡航歴】※以下、「海外渡航歴」の記載がある疾患については同内容を入力 ①直近30日以内の海外渡航歴の有無を（「海外渡航歴無」又は「海外渡航歴有」）を入力し、有 の場合は国名を追加入力 ②日本国内での滞在期間の区分（「長期滞在」又は「一時滞在」）を入力し、一時滞在の場合は 帰国予定日を追加入力 ①については、届出様式に「渡航期間」がある疾患については、当該欄に入力し、備考欄への入力は 不要
	クリミア・コンゴ出血熱				システム	直ちに	海外渡航歴
	痘そう(天然痘)				システム	直ちに	海外渡航歴
	南米出血熱				システム	直ちに	海外渡航歴
	ベスト				システム	直ちに	海外渡航歴
	マールブルグ病				システム	直ちに	海外渡航歴
	ラッサ熱				システム	直ちに	海外渡航歴
二類	急性灰白髄炎（ポリオ）	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	結核	○	○	○ ※結核の無症状病原体 保有者については、結核医 療を必要としないと認めら れる場合は届出不要	システム	直ちに	届出票の以下の項目は備考欄に入力 備考欄入力方法および入力用ひな形は下記東京都感染症情報センターウェブサイトにも掲載予定で す。 https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/survey/kobetsu/#top ・診断時の入院在宅の別 ・当該者の同居者数 ・リンパ球の菌特異蛋白刺激による放出インターフェロンγ試験 ・その他
	重症急性呼吸器症候群（SARS）	○	○	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	シフテリア	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	中東呼吸器症候群（MERS）	○	○	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	鳥インフルエンザ（H5N1）	○	○	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	鳥インフルエンザ（H7N9）	○	○	○	システム	直ちに	海外渡航歴
三類	コレラ	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	細菌性赤痢	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	腸管出血性大腸菌感染症	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	腸チフス	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	バラチフス	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
四類	E型肝炎	○	－	○	システム	直ちに	・海外渡航歴 ・PCR法により遺伝子が検出されなかった場合はその旨を備考欄へ入力
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎含む）	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	A型肝炎	○	－	○	システム	直ちに	・海外渡航歴 ・PCR法による病原体遺伝子検出した場合の「遺伝子型」が判明していれば備考欄へ入力 (例)IA型、ⅢA型 など
	エキノкокクス症	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	黄熱	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	オウム病	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	オムスク出血熱	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	回帰熱	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	キャサナル森林病	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	Q熱	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	狂犬病	○	－	○	システム	直ちに	・海外渡航歴 ・予防接種歴の有・無・不明を備考欄へ入力し、接種歴がある場合には、接種日または接種年齢も 入力

全数把握対象疾患 類型別一覧表

類型	疾患名	届出対象者			届出方法	届出期日	備考欄等入力方法
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者			
四類	コクシジオイデス症	○	－	○	システム	直ちに	【海外渡航歴】※以下、「海外渡航歴」の記載がある疾患については同内容を入力 ①直近30日以内の海外渡航歴の有無を（「海外渡航歴無」又は「海外渡航歴有」）を入力し、有の場合は国名を追加入力 ②日本国内での滞在期間の区分（「長期滞在」又は「一時滞在」）を入力し、一時滞在の場合は帰国予定日を追加入力 ④については、届出様式に「渡航期間」がある疾患については、当該欄に入力し、備考欄への入力は不要
	サル痘	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ジカウイルス感染症	○	－	○	システム	直ちに	・海外渡航歴 ・「5 診断時の年齢（0歳は月齢・日齢）」のうち、日齢を備考欄へ入力
	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る）	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	腎症候性出血熱（HFRS）	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	西部ウマ脳炎	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ダニ媒介脳炎	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	炭疽	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	チクングニア熱	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	つつが虫病	○	－	○	システム	直ちに	・海外渡航歴 ・PCR法により病原体遺伝子を検出した場合の「血清型」、抗体検査で判明した場合の血清型と値が判明していれば備考欄へ入力 (例) Kawasaki, Kuroki など (例) ツツガムシカトー IgM 40倍
	デング熱	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	東部ウマ脳炎	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	鳥インフルエンザ （鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9）を除く）	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ニパウイルス感染症	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	日本紅斑熱	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	日本脳炎	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ハンタウイルス肺症候群（HPS）	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	Bウイルス病	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	鼻疽	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ブルセラ症	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ベネズエラウマ脳炎	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ヘンドラウイルス感染症	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	発しんチフス	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ボツリヌス症	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	マラリア	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	野兔病	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ライム病	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	リッサウイルス感染症	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	リフトバレー熱	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	類鼻疽	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	レジオネラ症	○	－	○	システム	直ちに	・海外渡航歴 ・分離・同定により病原体を検出した場合の菌種、血清群が判明していれば備考欄へ入力 (例)Legionella pneumophila 1群
	レプトスピラ症	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴
	ロッキー山紅斑熱	○	－	○	システム	直ちに	海外渡航歴

全数把握対象疾患 類型別一覧表

類型	疾患名	届出対象者			届出方法	届出期日	備考欄等入力方法
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者			
五類（全数）	アメルバ赤痢	○	－	－	システム	7日以内	
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	○	－	－	システム	7日以内	
	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	－	－	システム	7日以内	薬剤耐性遺伝子型が判明している場合は備考欄へ入力 注：（結果が「＋」についてはすべて入力。「－」のみの場合は備考に「全て陰性」と記載 （例）IMP-1、EBC など
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	○	－	－	システム	7日以内	・「11感染原因・感染経路・感染地域」の「検査の実施について」は、「採取」「結果」のテキストボックスに以下（ ）内を参考に入力 例：血液 採取（令和3年8月11日）結果（陰性、または血液検体採取なし） 例：呼吸器由来検体 内容（咽頭ぬぐい液） 採取（令和3年8月11日）結果（EV-D68陽性） 例：髄液 採取（令和3年8月11日） 結果（陰性） 例：便検査1回目 採取（令和3年8月11日） 結果（陰性） 例：便検査2回目 採取（令和3年8月12日） 結果（陰性） ・以下の例については、可能な限り備考欄へ入力 例1：急性弛緩性麻痺の症状を認めるが、Campylobacter jejuni が便から検出されており、GBS が疑われる。 例2：数日前から発熱、喘鳴を認め、急激に四肢の麻痺を発症した。 例3：便秘、対光反射の減弱、瞳孔散大から、乳児ボツリヌス症を疑っており、迅速な検査が必要である。 例4：保育所に通園中であるが、同じ保育所に同様の急性弛緩性麻痺症状を認める児がいる。 例5：野生株ポリオ流行国への渡航歴がある友人と数日間を過ごす。友人は発熱、感冒症状を訴えていた。 例6：麻痺発症5日前に、海外で経口生ポリオワクチンを接種した。
	急性脳炎 （ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介 脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ 脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	○	－	－	システム	7日以内	
	クリプトスポリジウム症	○	－	－	システム	7日以内	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	○	－	－	システム	7日以内	

全数把握対象疾患 類型別一覧表

類型	疾患名	届出対象者			届出方法	届出期日	備考欄等入力方法
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者			
五類（全数）	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	－	－	システム	7日以内	・A群：菌種名、emm遺伝子型、発熱性毒素(spe)遺伝子検出(PCR)が判明している場合は備考欄に入力 (例)Streptococcus pyogenes、emm81、speB ・B群：菌種名、血清型が判明している場合は備考欄に入力 (例)Streptococcus agalactiae、血清型 V ・C群およびG群：菌種名、emm遺伝子型が判明している場合は備考欄に入力 (例)Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis、stC6979
	後天性免疫不全症候群	○	－	○	システム	7日以内	
	シアルジア症	○	－	－	システム	7日以内	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	－	－	システム	7日以内	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	－	－	システム	直ちに	届出票の以下の項目は備考欄に入力 備考欄入力方法および入力用ひな形は下記東京都感染症情報センターウェブサイトにも掲載予定です。 https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/survey/kobetsu/#top ・ 集団生活 ・ 集団に接する職業 ・ 集団に接する機会 ・ 日本国内での滞在期間 ・ 所属（保育園・学校・勤務先等） ・ 同居者 ・ 感染源に関する情報（発症約7日間前に出かけた場所、会った人） ・ 二次感染に関する情報（発症後にいた場所、接触した人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	○	－	－	システム	7日以内	
	水痘（入院例に限る。）	○	－	－	システム	7日以内	
	先天性風しん症候群	○	－	－	システム	7日以内	・出生時の母親の年齢を以下の例により備考欄に入力 例) ③出生時の母親の年齢：30歳 ・ワクチン接種歴について、母子手帳等による確認の有無がわかれば、以下の例により入力 例) 母子手帳等の記録による確認：有 母子手帳等の記録による確認：無
	梅毒	○	－	○	システム	7日以内	届出票の以下の項目は備考欄に入力 備考欄入力方法および入力用ひな形は下記東京都感染症情報センターウェブサイトにも掲載予定です。 https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/survey/kobetsu/#top ・ 国籍、居住地 ・ 受診のきっかけ ・ パートナー等の情報 ・ 妊娠の有無が「有」の方について ・ 保健所への連絡事項

全数把握対象疾患 類型別一覧表

類型	疾患名	届出対象者			届出方法	届出期日	備考欄等入力方法
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者			
五類（全数）	播種性クリプトコックス症	○	－	－	システム	7日以内	分離・同定により病原体を検出した場合の「菌種」が判明していれば備考欄へ入力 (例) <i>Cryptococcus neoformans</i>
	破傷風	○	－	－	システム	7日以内	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	－	－	システム	7日以内	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	－	－	システム	7日以内	
	百日咳	○	－	－	システム	7日以内	分離・同定による病原体を検出した場合の「菌種」が判明していれば備考欄へ入力 (例) <i>Bordetella pertussis</i>
	風しん	○	－	－	システム	直ちに	届出票の以下の項目は備考欄へ入力 備考欄入力方法および入力用ひな形は下記東京都感染症情報センターウェブサイトにも掲載予定で す。 https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/survey/kobetsu/#top ・ 集団生活 ・ 集団に接する職業 ・ 集団に接する機会 ・ 妊婦との接触 ・ 日本国内での滞在期間 ・ 通学先・勤務先等 ・ 家族・同室者等 ・ 感染源に関する情報（発症約 3週間前に出かけた場所、会った人） ・ 二次感染に関する情報（発疹が出現する 7 日前から出現後 5 日目までに出かけた場所、会った 人）
	麻疹	○	－	－	システム	直ちに	届出票の以下の項目は備考欄へ入力 備考欄入力方法および入力用ひな形は下記東京都感染症情報センターウェブサイトにも掲載予定で す。 https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/survey/kobetsu/#top ・ 集団生活 ・ 集団に接する職業 ・ 集団に接する機会 ・ 日本国内での滞在期間 ・ 通学先・勤務先等 ・ 同居者（家族・同室者等） ・ 感染源に関する情報（発症約 2 週間前に出かけた場所、会った人） ・ 二次感染に関する情報（発症 1 日前から解熱後 3 日目までに出かけた場所、会った人）
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	－	－	システム	7日以内	薬剤耐性遺伝子型が判明している場合は備考欄へ入力 (例) OXA-51-like、IMP-1 など
新型インフルエンザ等 感染症	新型インフルエンザ	○	○	○	システム	直ちに	
	再興型インフルエンザ	○	○	○	システム	直ちに	
	再興型コロナウイルス感染症	○	○	○	システム	直ちに	